

たげきたばたけしいせき おたちく
多気北畠氏遺跡第39次(小田地区第6次)

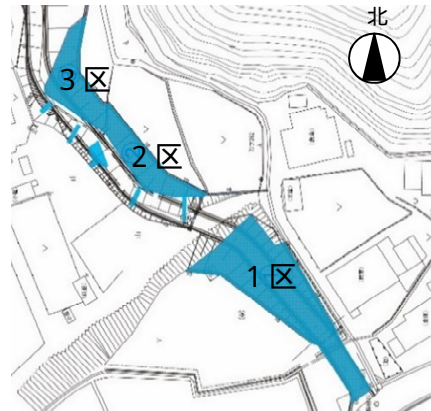
所在地

津市美杉町下多気
(つしみすぎちょうしもたげ)

発掘調査期間

令和3年4月26日
～8月25日

発掘調査の成果



この地図は工事に先立って三重県土木整備部が作成したものです



2・3区落ち込み(東から)

多気北畠氏遺跡小田地区での現地調査が終了しました。今回はその成果をお伝えします。調査区を1区・2区・3区と設定し現地発掘調査を進めていきました。1区では包含層から土師器や陶磁器、瓦の破片がわずかに出土しました。2・3区では落ち込みから縄文時代早期を中心とした土器や石器などが多数出土しました。また、包含層から土師器や山茶碗などの破片がわずかに出土しました。北畠氏に関連する遺構はみられなかったものの、多気の地で暮らした縄文時代の人々の様子を知る手がかりを得ることができました。

出土遺物(土器) 縄文時代早期の押型文土器(大鼻式など)とよばれ、およそ10,000年前のものと考えられます。土器の表面には縄目や格子状といったさまざまな文様が施されています。



問い合わせ先

515-0325

三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター

担当：中村

電話：0596-52-7028